

社会福祉法人ファミーユ高知だより

ふくらむ

2025年 春・夏号 No.48

発行所 高知ハビリテーリングセンター 印刷科

お遍路巡りを終えて

今年の4月5日に高野山奥の院にお礼参りして、無事お遍路巡りを終えました。札を納め、お経を唱え、それを八十八ヶ所も！なぜそんな事を始めたかというのと、何か病気にかかったとかではなく、高知県に生まれこの歳になり、やり残していることリストを作成した中に「四国お遍路」があったのです。2023年9月11日から一念発起し巡礼に出たのです。本来は陣笠をかぶり、杖をついて八十八ヶ所を歩いて巡るのが正しいスタイルなのですが、ヘタレな私は車で巡りました。それでも1日にせいぜい5～6ヶ所位しか巡れません。休みを利用して、週末に1泊旅行を兼ねて回るなど1年半という時間はかかりましたが無事に満願を迎えました。納め札に願い事を書いてお経を唱え、最初は恥ずかしさと難しさで小声でしたが繰り返すうちに声を出して言えるようになりました。お経もカラオケと同じで上手い下手があるのだと気づき、気持ちが入っていると様になっていて格好いい自分がいました。お遍路の道中幾多の人と出会うことができました。「家族の冥福を願って」「自分の病気が良くなるように」「自分を見つめ直す為」などなど、私から尋ねる事はありませんでしたが、願い事が見えてきます。手を合わせ真剣に祈っている姿は本当に美しい！そこには、人の温もり、そして慈しみがありません。



この巡礼を始めてから取り組んできたプロジェクトが実を結び、プライベートでは孫が誕生するなど様々な幸運が舞い込むようになりました。弘法大師・空海ゆかりの八十八ヶ所の札所を巡ることで心の中の煩惱を取り除き、ごくごく当たり前の事なのですが私の周りの人たちの存在に感謝し、今の生活に感謝する時間となりました。



高知ハビリテーリングセンター
センター長 西岡由江



社会福祉法人 ファミーユ高知



●高知ハビリテーリングセンター
〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-2601

◇障害者支援施設

- ・施設入所支援事業
- ・短期入所支援事業（空床型/併設型）
- ・自立訓練事業（機能訓練/生活訓練）
- ・生活介護事業

◇アルパーテ

- ・就労継続支援B型事業
- ・就労移行支援事業
- ・就労定着支援事業

◇はるのハビリホーム

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷23番地1
・共同生活援助事業



●しごと・生活サポートセンター ウェーブ
〒780-0056 高知県高知市北本町1丁目 8-7
Tel (088) 820-1221 Fax (088) 820-1223
◇就労継続支援A型事業「OWNパス」
◇就労継続支援B型事業「スウェル」

●法人本部

〒781-0313 高知市春野町内ノ谷 63 番地 6
Tel (088) 842-1921 Fax (088) 842-5010

タイムスリップ

みなさんの職場ではどのように「勤怠管理」がされていますでしょうか？

諸説あると思いますが、日本では江戸時代にはすでに、時代劇などでおなじみの「三井越後屋」において「改勤帳」「批言帳」という帳簿を用いた勤怠管理がおこなわれていたという記録があり、世界で見ると労働者の勤怠管理の運用はすでに古代エジプトのピラミッド建造時からあったとされています。その後、時代が経つにつれ、雇用されて働く労働者が爆発的に増えることにより、従来型の自己申告や管理者による手書きの管理で運用することが困難になり…そんな中、19世紀にアメリカでタイムレコーダーが発明されたようですが、当時は手書きが主、自己申告で労働時間を把

握していた事業所は労働時間の適正な把握のため「タイムカード、ICカードなどの客観的な記録をその根拠とすること」と明記されていたので、タイムレコーダーなどを利用した勤怠管理システムの導入が一気に普及することになりました。

そのような歴史の中で去る3月16日～当法人も時代に合わせて勤怠管理から「デジタル化」となりました。デジタル化を職員が標準的に安心して利用できるように全員で冷や汗掻きながらがんばります。

副センター長 中越太一



春祭り開催

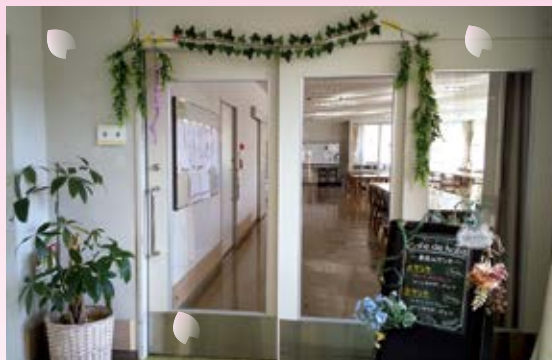
今年は少し趣向を変え、1～3月の長期スパンで楽しめる春のイベントを計画しました。1月には、『カレートッピング総選挙』を開催。2月には豪華7段の雛飾りを施設の玄関に飾りつけ。そしていよいよ本番の3/20(木)。当日は『ハビリどっちクイズ大会』を開催。ハビリにまつわるクイズを出し、上位正解者には豪華景品を進呈。ほどよい(?)難易度の問題に皆さん楽しんでいました。食堂は、カ



フラワーポットは利用者さんの手作りです

フェ風をテーマに飾りつけをしました。昼食のカレーのトッピングは、1月の総選挙で決まった『チキンカツ』or『ポークカツ』。まだまだ寒い3月でしたが、皆さんの笑顔で暖かさを感じられる一日になりました。

就労継続・地域部 谷口茉耶



災害時のトイレを考える

災害が発生し、水や食糧と同じくらい生命に関わる問題となるのがトイレです。

水洗トイレが機能なくなると、不衛生になり、不快な思いからその使用がためらわれることになり、排泄を我慢します。それが水分や食品摂取を控えることにつながり、やがて健康被害を引き起こします。

そこで災害対策委員会では既存のトイレスペースをうまく利用できる災害用トイレの購入を検討

しました。いくつかの商品を委員が実際に使用して、衛生面や機能性、精神的なストレス等を評価しました。

こうして新たに追加された備蓄品はハビリ利用者の「命と尊厳を守る」1つとして頼もしく倉庫に保管されました。

災害対策委員会

柏木雷太



第1回 地域連携推進会議開催

2024年11月18日(月)第1回地域連携推進会議を開催しました。これは居住や生活の場であり、運営が閉鎖的になる恐れがあるサービス類型について、地域の関係者を含む外部の目を定期的に入れることが事業運営の透明性を高め、一定の質の確保につながるものという考えのもとに来年度には義務化されるものです。

この内容が提示されたときには、「今年度中に開催できるのか」「大変なのではないか」というのが正直な気持ちでした。実際に開催すると、施設入所とグループホーム利用者の方にアンケートを実施し、事業の振り返りの機会となりました。また当日、参加者の方からの率直な感想や質問をいただく事で、できている事への気づきや、利用者さんの希望を再確認する事ができました。

2025年秋には第2回地域連携推進会議を開催します。次回は気構えることなく、当日を迎えたいと思います。

生活・訓練部 川渕佐織



私のチャレンジ

この度高卒認定の試験に合格することができました。私は病気の為、高校を卒業できていませんでした。当時は卒業できなくても仕方ない



など諦めていたけど、就職をするにあたって改めて高校卒業という資格が必要だと思い、チャレンジしました。9月から就労移行を利用開始し11月の試験まで2カ月余りしかありませんでした。苦手な英語も含め3教科の勉強はかなりつらく、何度も挫折しそうになりましたが、就労移行の職員さんや利用者さんに励ましてもらいながら頑張ることができました。まさか合格しているとは思ってなかったので合格通知が来た時には凄く嬉しかったです。今後もこの経験を活かし何事にもチャレンジして行きたいと思っています。就労移行で学んだことはこれからもいろいろなところで発揮したいと思います。

就労移行 利用者 岡本幸代

障害者スポーツセンター リレーマラソン

令和7年度障害者スポーツセンター主催のリレーマラソン大会にハビリ職員6名1チームで参加させていただきました。当日雨の予報ではありましたが、天気にも恵まれ気持ちよく走ることができ、良い結果を残すことが出来ました。新年早々という事もあり、怠けていた心身もシャキッとしたので良い刺激となりました。一緒に参加してくださった職員の方々、応援してくださった職員・利用者の皆様ありがとうございました。来年も参加したいと思いますので是非応援よろしくをお願いします。

生活・訓練部 渡辺匠馬



高次脳機能障害 ってなに？



機能訓練では、脳血管疾患や交通事故、アルコール性の脳疾患などを起因とした高次脳機能障害の方が7割程度おられ、生活上の課題についての支援を行っています。

高次脳機能障害とは脳が損傷されることで起こる病態で、記憶障害、注意障害、遂行機能障害、病識欠如、社会的行動障害などがあり、見た目ではわかりにくいことから「見えない障害」ともいわれます。ものごとが覚えにくい、気が散りやすい、

頭がいっぱいになりやすい、新しいことが起こると混乱する、感情が抑えられないなど、症状は様々です。生活や対人関係の中でトラブルがおきるなどして周囲の困惑を生むことがあり、また、当事者ご自身にとっても、何かおかしいな、うまくいかないな、と違和感を抱きながらも自覚しにくいことが多い障害でもあります。

機能訓練では、「自身の特徴に気づく・知ること」を第一の支援とし、日々の問題を振り返ることや高次脳機能検査・グループ活動・作業課題を通じて苦手なことや得意なことを言語化・可視化することなどに取り組んでいます。生活の工夫の方法など対処法を模索し、充実しつつも無理のない生活や仕事・活動の仕方を一緒に考えていきます。

生活・訓練部 土居文佳



クリスマス イベント

施設入所企画クリスマスイベントを実施。ハビリのクリスマスを利用者の方に楽しんでいただく！をテーマに企画しました。各部署に協力依頼し、中庭イルミネーションの飾り付け、本館玄関前には、クリスマスツリー飾り付けを行いました。お昼ごはんは、もちろんクリスマスメニュー。美味しく頂きながら今年1年を労うことができたことでしょう。

利用者全員三角くじ引き、ハズレなしその場で当たるプレゼント企画はどうでしたか？

皆さんの笑みがこぼれる楽しい1日でした。

生活・訓練部
笠松早由



毎年恒例で開催している餅つき大会が今年も行われました。体験コーナーでは、利用者さんや職員が一体となって楽しむ様子もうかがえ、新年のめでたい雰囲気に包まれた和やかな表情がみられて良かったです。

みなさんの思い思いに餅をつく様子やつきたての餅を美味しく食べる姿は、普段の訓練やお仕事とはちがった活き活きとした表情で、今年も明るく楽しい1年を過ごせそう。そう思わせてくれるひと時となりました。

2025年もみなさんが健康で豊かな日々を過ごせるような支援により一層努めると同時に、また来年も同じようにみなさんが餅つき大会を楽しめるような1年にしていきたいと思います。

生活・訓練部 廣田李々佳



田村PT 出向報告

11月16日～2月15日の3ヵ月の期間、近森リハビリテーション病院、近森オルソリハビリテーション病院、近森病院の3院の法人を、出向という形で研修させていただきました。

3院では、たくさんの学びを得ることができたこと以上に、様々な人との交流もあり、非常に楽しい期間を過ごし、働くことができました。スタッフの方々には、医療機関での働き方や具体的な支援内容、入院されている患者さんの方々にたくさんのお話をいただき、3ヶ月という期間はあっという間に感じる程のものでした。

今回の研修では、「ハビリって、どんな所？」と聞いて下さることも多く、改めて、私の取り組みも含め、ハビリで行っている支援についても、

考え直す時間となりました。

今後他企業を知る・働くことができる機会があれば、積極的に参加していきたいです。

生活・訓練部 田村亨介

出向にあたっての思い

田村理学療法士は約5年前に新卒で福祉の世界に飛び込んできてくれました。ご利用者が理学療法士に求める専門性を培う上で、いつの時代も「医学的な根拠に基づく理学療法」「医療機関におけるチームアプローチ」の知識と技術の習得は欠かせないものであると思い、社会医療法人近森会での実習をお願いした次第です。実習後にひときわ成長した姿を見ることができたのも、患者様・医療スタッフの皆様のご協力、そして彼の努力の賜物だと感じました。

生活・訓練部 島崎義広

三つの学び 集大成

2024年度教育委員会にて、各事業がそれぞれの支援に活かせる3つのテーマを決めて学ぶ、題して『3つの学び』を企画しました。

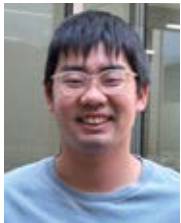
今回は学んで終わるだけではなく、自事業にとってどう活かされたのか、また今後の支援にどう繋げていくのかを大切にしたいと考え、各事業による発表会も行いました。困ったり悩んだケースを元に講師を招いた研修会を企画した部署では、利用者の言動が障害特性によるものだと理解することで、利用者の見方が変わり支援の参考に

なった等、3つの学びを通してそれぞれの事業が支援を見直したり振り返る機会となりました。また、研修会の準備や講師の手配等を自事業で行ったことで、課題等を自分達で解決していく手段も身に着けることが出来ました。今後もケースを深め、さらに支援力を高めていけるようになればと期待しています。

生活・訓練部 半田明日翔



ハビリ・ウェーブ 利用者の夢がふくらむ



僕は高価な物が大好きです。防音室、スマホ、PS5PRO、健康管理リングととにかく高いものを買いたがります。なので仕事をととても頑張ります。欲しい

ものや趣味の物を買うために職場での人間関係に気を付けながら、自分なりに誰とでも上手く付き合っていくように考えて仕事生活を過ごしています。そのおかげでしっかりと評価してもらい、必要とされてる感じがとても嬉しいです。将来的には一般で働けたらいいなと思っています。

就労継続支援B型 利用者 川久保友太郎



古谷さんイラスト

長い間、『ハビリテーリングセンター』で、お世話になっております。ちょうど30のころに大きなケガをして近森リハビリ病院を経て、ここにきました。

過去の自分は、対人関係が苦手で、家族以外とは話せない極度の人見知りでした。言葉も小さく聞き返される、いざ話しかけられるとすごく緊張して、話せずの日々でしたが、精神科の先生の勧めで始めた『SST』のおかげもあって、今はあいさつもはつきりと言えるようになりました。

昔から絵を描くことや音楽を聞くことが好きでしたが、ギターも少しずつ始めています。こうして少しずつ積み重ねて、少しでも前向きに生きられるようになりたいです。その先の未来に、今よりもっと、自分が好きな私がいたらいいなと、思います。

就労継続支援B型 利用者 古谷真三

施設外就労を**頑張**っています！

J A 春野で施設外就労を始めて4年目を迎えています。今回、いつもお世話になっているJ A 春野の伊藤さんにお話を伺いました。



JA 伊藤さん

Q. 普段はどのような作業を行っていますか？

▶主に3つの工程を行っており、きゅうりの袋入れや箱詰め、きゅうりを選別するためにベルトコンベアに整列する作業などになります。

Q. 最初に受け入れる時は不安がありましたか？

▶作業能力が問われ、ある程度のスピードも必要なため、どの程度作業ができるのか不安がありました。1年目は見学・体験と段階を踏んで、何の作業ができるのか適性や能力を見てできることを探求しながら進めていきました。

Q. 4年目を迎えた今はどうですか？

▶全く不安はないです。職員の高齢化や人員不足もありウェーブから来てくれていることで計画を立てて作業ができています。

J A 春野・ウェーブともに有意義な施設外就労となっていることが分かり安心しました。これからも共に手を携えて頑張っていきたいと思います。

オウンパス 松江珠里



第6回マイスター検定



6回目になるオウンパス独自のマイスター検定を3月に実施しました。開始から三年を迎え、スタッフにとってのスキルアップ、モチベーションアップになってもらいたいです。

実技、筆記試験を予定通り行い、現在合格発表を残すのみとなっています。実施中は職員が試験官になることで普段とは違う緊張感があり、本来の実力を発揮できず試験内容以外にも克服すべき事があるようです。今回は少し厳しめな結果となっていますが、今後の品質向上に向け、結果を受け止めより一層精進してってもらいたいです。結果が気になる方はオウンパスにお越しください。

オウンパス 森矢圭吾

超久しぶりの
県外イベントに行ってきました！

コロナによる規制も緩和されつつあり今回6年ぶりとなる県外研修に13名の利用者と3人の職員で香川県の琴弾公園に行ってきました。お花見のシーズンでもありたくさんの観光客で賑わっていました。桜の名所ではありますが孔雀がいたり、銭形砂絵という観光スポットもあり、魅力がたくさん詰まっている琴弾公園。また世界のコイン館にも訪問しました。皆で散策しながら桜を見たり山を登って銭形砂絵の前で記念写真を撮ったりと充実した時間を過ごすことができました。

スウェル 齋藤章人



【ウェーブ特定相談支援事業所廃止のお知らせ】

この度、2025年3月末をもちまして特定相談支援事業所が廃止となりました。何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

人材発掘！

介護労働安定センター から

ハビリ



介護労働安定センターでは、初任者の方に半年間かけて介護の知識・技術を習得する講習を行っており、当センターからも、職員が講師として講習をしています。センターでの講習を終え、ハビリテーリングセンターで働くに至った2名の職員にインタビューを行いました。

● 学んだこと

介護福祉士試験を受けるために必須となる実務者研修の修了と医療的ケアの技術を学びました。私は介護職の経験がなかったので、施設実習は仕事の大変さや喜びを実感できる貴重な機会でした。

● ハビリを選んだ理由

障害者福祉の分野に興味があり、誰かの役に立てる仕事がしたいと考えていました。ハビリは自立訓練や社会復帰を支援している施設という所に魅力を感じました。

● 今、していること

日中活動事業の生活介護と施設入所の利用者さんの生活支援を行っています。毎日慌ただしく過ぎていきますが、同じ日はなく利用者さんの変化を発見できたり、一緒に笑顔になれる瞬間がやりがいになっています。

生活・訓練部 徳廣知与

私が、ハビリに就職する前、実務者研修を受講する為に半年間通っていたのが介護労働安定センターです。以前は、地域密着型のデイサービスで勤務していましたが、介護福祉士になりたいという目標ができ、受講することを決めました。受講生は、年齢、性別、前職もバラバラですが、皆が同じ目標に向かって学ぶ場で、講義は様々な施設の方々に講師を務めていただいている、生活・訓練部の島崎部長にも講義をして頂きました。ハビリの紹介をしていただいた際に、高齢者施設とは違う分野でとても興味が湧きました。実習に来てみて益々ハビリで働きたいと思ったのを今でも覚えています。実務者研修では主に高齢者介護の技術や、認知症について学ぶ為、障害については一からの勉強で不安も大きかったのですが、先輩方からの丁寧な指導やアドバイスもあり、何より毎日の利用者さんとの関わりが、自分のやりがいとなっています。

生活・訓練部 片岡嘉美

レ・エッセイ

趣味について

～珈琲～

私は、必ず毎日、起きたらすぐに珈琲を淹れます。

思えば25年前にたまたま専門店で立ち寄った際に焙煎に興味を持ち、買った生豆を手網を使って煎った豆で珈琲を淹れてみたところから始まったのだと思います。

当時の私は、もっと美味しく珈琲を淹れるために知識を得たいと思う気持ちが爆発。すぐに、お気に入りのお店に弟子入りしました。

毎日飲む珈琲はまるで生きていて、忙しい時は、なんだか味気ないコーヒーになり、気持ちが落ち込んだ時にはほろ苦くも慰めにもなる。何かに挑戦する日の始まりには活力になる。この一杯の珈琲が、その時の自分の状態を映しています。

こうして文字に変換しながら改めて思うのです。「ああ、だから25年もの間、毎日珈琲を淹れているのだ」と。

生活・訓練部 前田悟史



GH 世話人

趣味について

古いオーディオで音楽を聴いています。レコードからカセットテープ、CDが一般的ですが、カ

セットの前に出たのが写真のオープンリールテープです。簡単に言うと、磁気テープをむき出しのリールに巻いて使う方式です。本機は1981年製のTEACのX-2000Rですが、10年程前に専門家にオーバーホールしてもらい当初の機能を維持しています。CDを遙かに超える30～40000Hzのワイドレンジが自慢です。とは言え高齢者にはどれだけ聞こえているかわかりませんが、まだ、補聴器を使用していないので大丈夫なのでしょう。音が出るまでの準備が一手間のアナログ製品ですが、それが楽しみの作業でもあります。ゆっくり回転するさまを眺めながら、今宵もグラスを傾けるとしましょう。

就労継続・地域部

山本三男



高知龍馬マラソン 開催

2025年2月16日(日)

【途中で止まっちゃいました…。でも、完走】



脳性麻痺の車椅子利用者と、“龍馬マラソンのファンラン”に参加する機会をいただきました。本番前、本人は緊張気味…。声かけても「う～ん」ぐらい。その後、ピストルの音とともにレースがスタートしました。表情は変わり、全力で車椅子を漕ぐ本人に、置いて行かれそうでした。途中、体力切れから、止まることもありましたが、「頑張って」との声援もあり、走り抜けることができました。私自身も貴重な体験をさせていただいたこと、本当に楽しかった思い出になりました。

生活・訓練部 田村亨介
機能訓練 利用者 上野真旺



季節の花

春の花といえば、チューリップを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。チューリップは切り花でも茎が伸びたり、昼間開いて夜閉じる性質があり毎日見ても変化を楽しめるお花です。その他にもラナンキュラス、ユキヤナギも春に咲く花です。うらかな陽気とともにお花も春を感じさせてくれます。

ヒメミズキ、ユキヤナギ、チューリップ、ラナンキュラス、カーネーション、トルコキキョウ、シンピジウム、アルストロメリア、モルセラ、アレカヤシ、ドラセナ(サンデリアーナ)、モンステラ

生け花担当職員 小松 香



利用状況

ハビリテーリングセンター

○2025年3月の見学件数
..... 19件

○3月の1日あたりの平均利用者数
(小数点第二位以下は四捨五入)

自立訓練

・機能訓練(定員20名) … 18.8名
・生活訓練(定員6名) … 6.5名

生活介護(定員14名)

..... 11.6名

施設入所支援(定員40名)

..... 34.1名

アルパーテ

・就労継続支援B型(定員40名)
..... 38.5名

・就労移行支援(定員6名)

..... 1.8名

・就労定着支援..... 8名

はるのハビリホーム(定員36名)

・グループホーム..... 29名

ウェブ

○2025年3月の見学件数

オウンパス 1件

スウェル 2件

○3月の1日あたりの平均利用者数
(小数点第二位以下は四捨五入)

オウンパス(定員10名) 7.3名

スウェル(定員40名) 34名

編集後記

4月13日に大阪万博が開幕しました。前回1970年の大阪万博では「月の石」が人気で連日長蛇の列が続いたそうですが、当時幼かった筆者はほとんど記憶がなく、松下館(現在のパナソニックが運営する施設)の広大なホールが怖く大泣きした記憶が少し残っています。今回の万博の目玉は「火星の石」とのこと。実物大のガンダム像と合わせて見に行きたいと思います。

しずく